

9 鉄穴流しによる改変地形（津山市加茂町宇野）

写真



解説

中国山地の山陰帯花崗岩分布地域では、たたら製鉄の原料となる砂鉄を風化した花崗岩から採集する鉄穴（かんな）流しが各地で行われていた。鉄穴流しでは、加圧した水流で風化花崗岩を切り崩しながら、流水中における重力による選鉱法を使って磁鉄鉱を濃集させる。このため、切り崩された風化花崗岩地域では不自然な形態で丘陵が残存していたり流された土砂が谷を埋めて平坦になるなどの人工改変地形が形成された。また、砂鉄採取場所の近傍でたたら製鉄が行われていることも多く、これらの場所では鉄滓（いわゆるカナクソ）が落ちていることもある。

提供者 氏名 能美 洋介 所属 岡山理科大学